

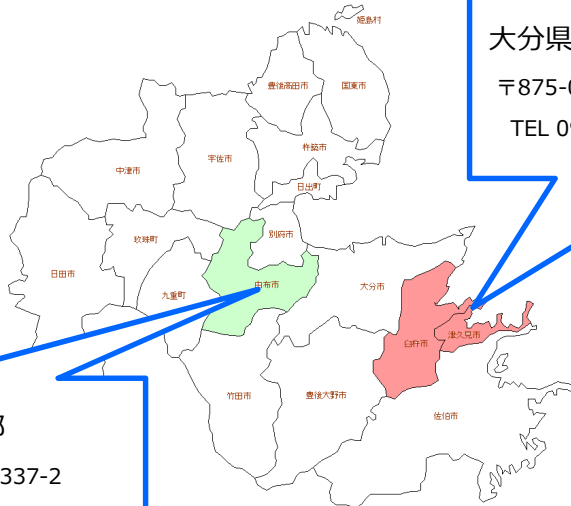


わたしのまちの健康プロフィール

【大分県中部保健所・由布保健部】

作成日：平成26年4月

1. 管内の概要



大分県中部保健所

〒875-0041 臼杵市大字臼杵字洲崎72-34
TEL 0972-62-9171 / FAX 0972-62-9173

大分県中部保健所由布保健部

〒879-5421 由布市庄内町柿原337-2
TEL 097-582-0660 / FAX 097-582-0691

2. 人口

①人口・世帯数

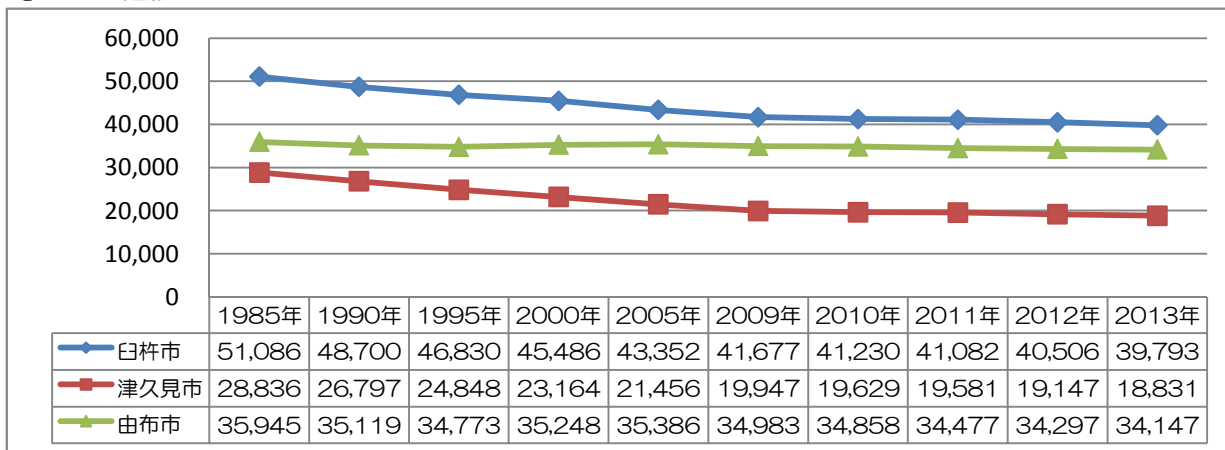
平成25年10月1日現在

	人 口 (人)			世帯数	高齢化率	面積 (km ²)	人口密度 (人 / km ²)
	総 数	男	女				
大 分 県	1,178,775	557,437	621,338	490,888	28.6	6,339.82	185.9
管 内	92,771	43,416	49,355	36,210	33.9	689.81	134.5
臼 杵 市	39,793	18,605	21,188	15,375	35.5	291.08	136.7
津 久 見 市	18,831	8,784	10,047	7,786	36.6	79.57	236.7
由 布 市	34,147	16,027	18,120	13,049	30.6	319.16	107.0

注：管内人口の総数には、年齢不詳の者を含む。高齢化率の分母は、年齢不詳分を除く。

資料：人口・世帯数は県統計調査課「毎月流動人口調査」、面積は国土地理院「平成23年全国都道府県市区町村別面積調」

②人口の推移

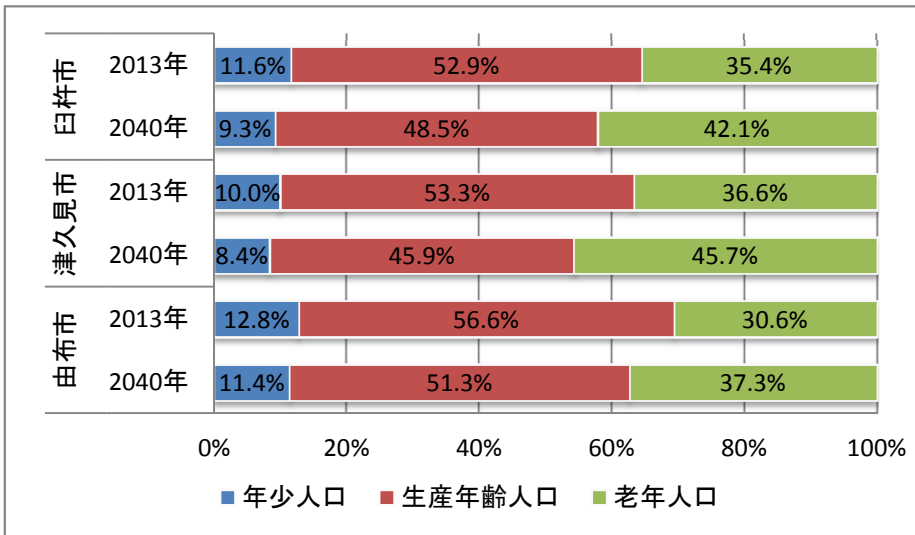


注：1985年～2000年の「臼杵市」の人口は、「旧臼杵市」と「旧野津町」を合算したものの

資料：1985年～2005年は総務省統計局「国勢調査報告」

2009年～2013年は県統計調査課「毎月流動人口調査」（毎年10月1日現在）

③将来人口推計



人口は、年々減少傾向です。今後も減少すると推計されています。

年齢3区分の人口割合は、3市とも、年少人口、生産年齢人口が減少し、老年人口が増加しています。



資料：日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計） 国立社会保障・人口問題研究所

3. 人口動態

平成24年

	日本人人口	出生					死亡	
		実数	率 (人口千対)	合計特殊 出生率	2500g未満 (再掲)	出生数に対する 2500g未満 の出生割合	実数	率 (人口千対)
大分県	1,178,000	9,650	8.2	1.53	880	9.1	14,050	11.9
管内	93,511	665	7.1	1.53	63	9.5	1,401	15.0
臼杵市	40,307	259	6.4	1.53	27	10.4	623	15.5
津久見市	19,034	107	5.6	1.36	10	9.3	301	15.8
由布市	34,170	299	8.8	1.61	26	8.7	477	14.0

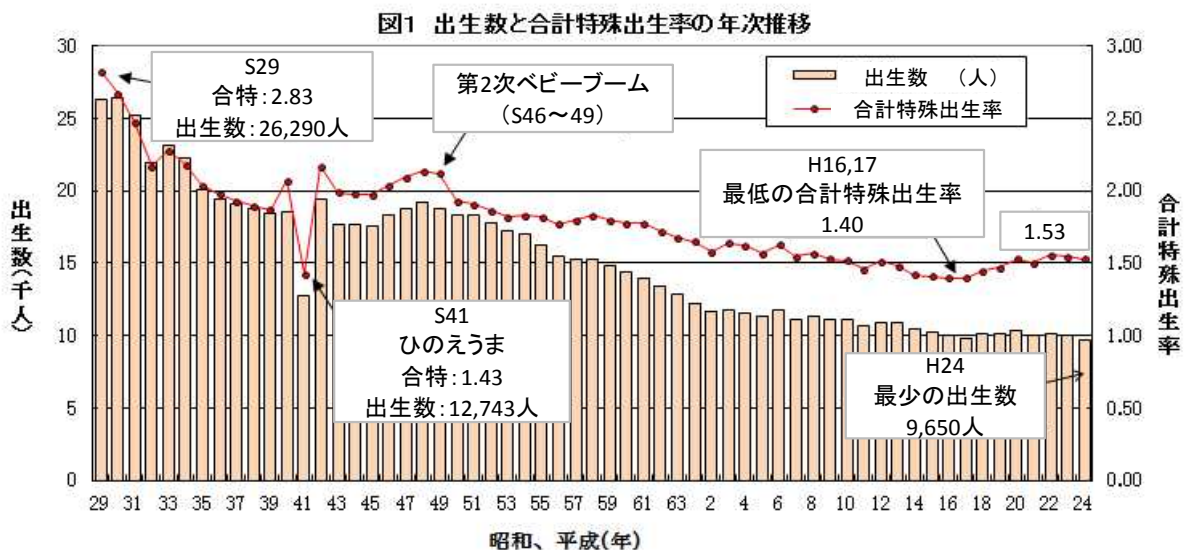
資料：厚生労働省「人口動態統計」

合計特殊出生率は県福祉保健企画課調べ、管内及び各市の数値はその年次を含む前5年間の平均値



「合計特殊出生率」とは、15～49歳の女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に産む子どもの数です。人口を維持するためには、2.07以上が必要です。管内の合計特殊出生率は、前年を0.02下回っています。

大分県の出生数と合計特殊出生率の年次推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」、合計特殊出生率は、県福祉保健企画課調べ

4. 主要死因別死亡率（人口10万対）

平成24年

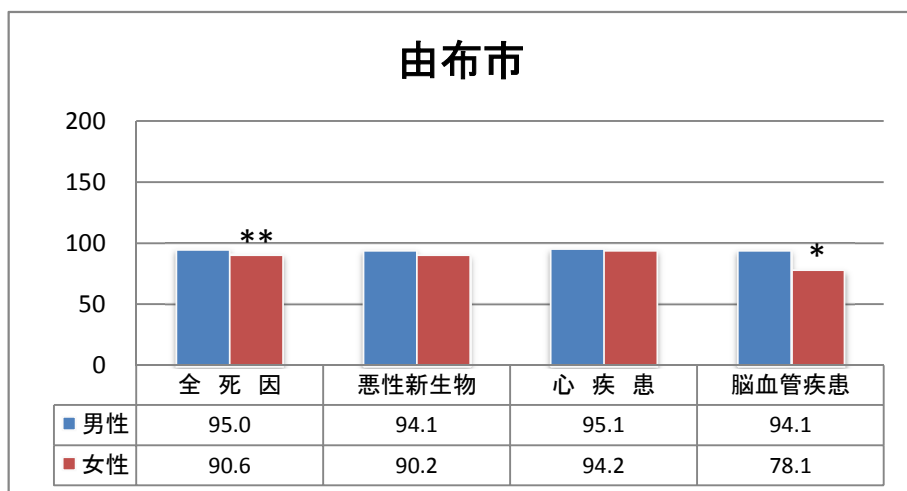
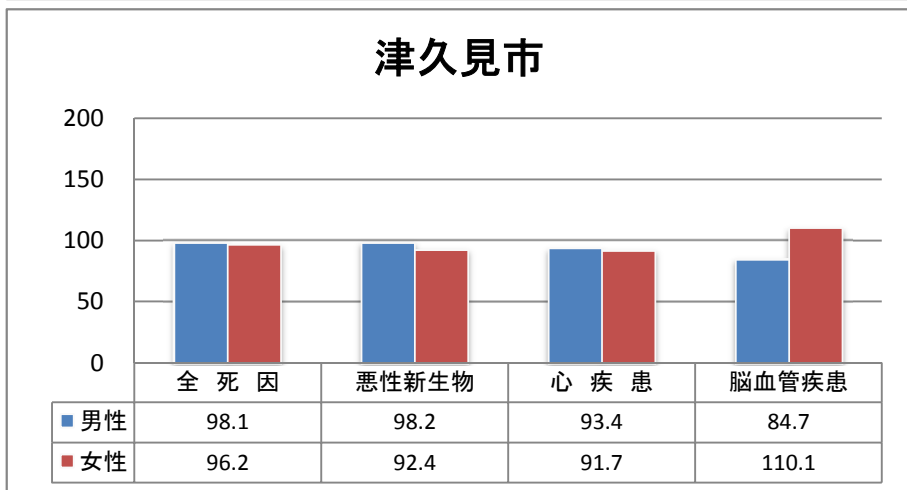
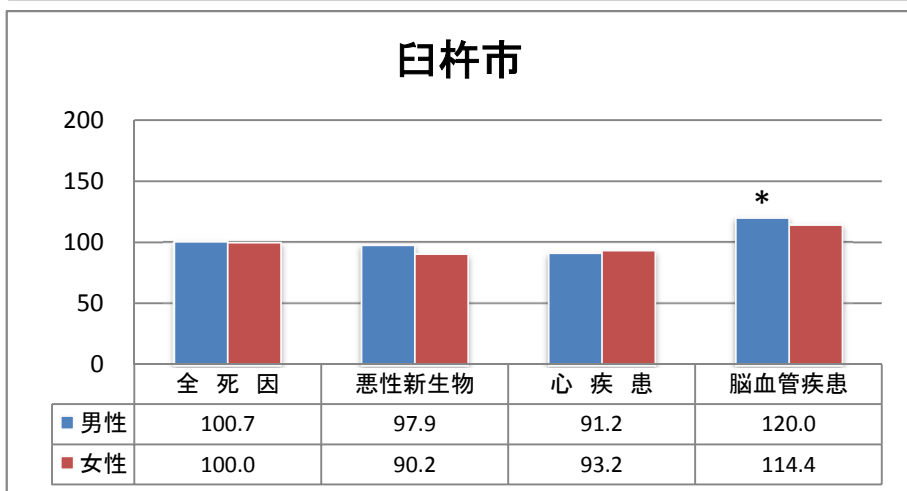
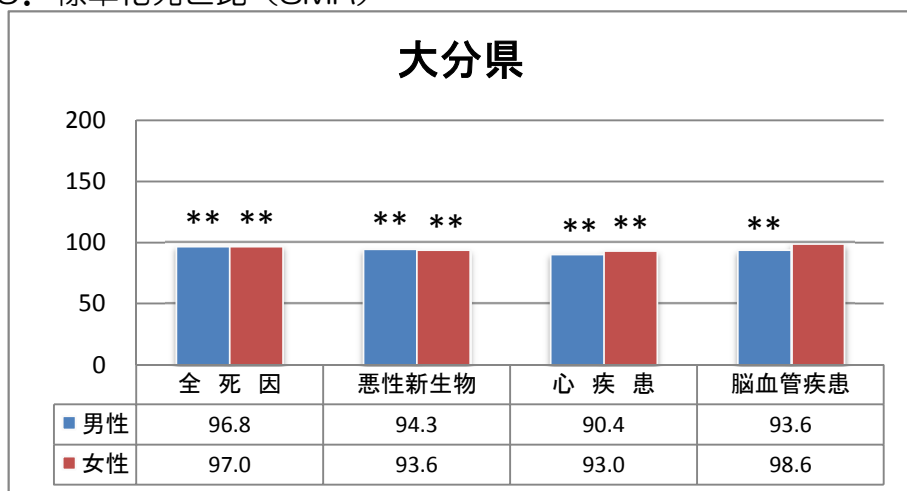
	全国	大分県	管内	臼杵市	津久見市	由布市
総数	997.5	1,193.8	1498.2	1545.6	1581.4	1396.0
悪性新生物	286.6	318.9	376.4	382.1	373.0	371.7
心疾患	157.9	184.9	222.4	208.4	257.4	219.5
脳血管疾患	96.5	119.6	164.7	186.1	147.1	149.3
肺炎	98.4	123.0	147.6	156.3	110.3	158.0
老衰	48.2	59.9	109.1	136.5	78.8	93.6
不慮の事故	32.6	37.6	55.6	49.6	78.8	49.8
自殺	21.0	22.2	20.3	22.3	10.5	23.4
腎不全	19.9	26.6	27.8	34.7	31.5	17.6
慢性閉塞性肺疾患	13.0	21.2	17.1	19.8	21.0	11.7
肝疾患	12.7	13.8	21.4	22.3	31.5	14.6
大動脈瘤及び解離	12.6	13.2	20.3	27.3	15.8	14.6
糖尿病	11.5	12.8	12.8	17.4	10.5	8.8
高血圧性疾患	5.8	9.0	6.4	5.0	10.5	5.9
結核	1.7	1.4	2.1	0.0	0.0	5.9
喘息	1.5	2.2	4.3	0.0	5.3	8.8
その他	178.3	229.2	289.8	277.9	399.3	242.9

資料：厚生労働省「人口動態統計」、大分県「公衆衛生年鑑」

平成24年の死亡率をみると、全国、大分県、管内とも第1位は悪性新生物、第2位は心疾患です。人口や年齢構成に違いがあるので、各市を比較するには、次の標準化死亡比（SMR）や年齢調整死亡率を参照してください。



5. 標準化死亡比 (SMR)



標準化死亡比 (SMR) とは、各地域の年齢階級別人口と全国の年齢階級別死亡率により算出された各地域の期待死亡数と、その地域の実際の死亡数との比を示します。

主に、小地域の比較に用いられ、全国を100（基準値）として、100より大きい値の場合、その地域の死亡状況は全国より悪く、100より小さい値の場合は全国より良いという意味です。

*は5%の危険率で、**は1%の危険率で有意に高いまたは低いことを示しています。



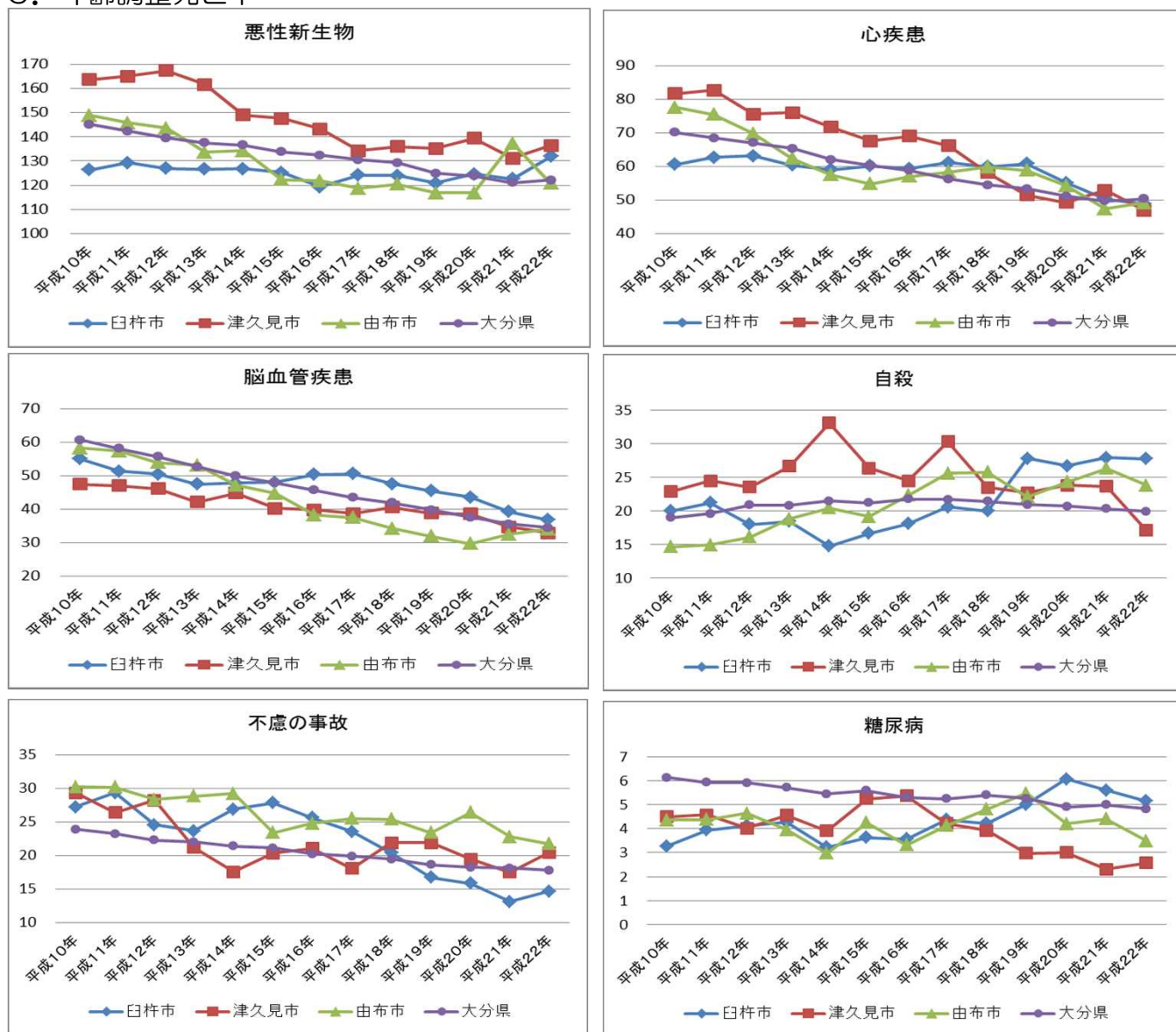
グラフは、平成20年～平成24年のデータを基に算出した標準化死亡比 (SMR) です。

臼杵市では、男性の脳血管疾患が有意に高くなっています。

由布市では、女性の全死因が特に有意に低く、脳血管疾患が有意に低くなっています。



6. 年齢調整死亡率



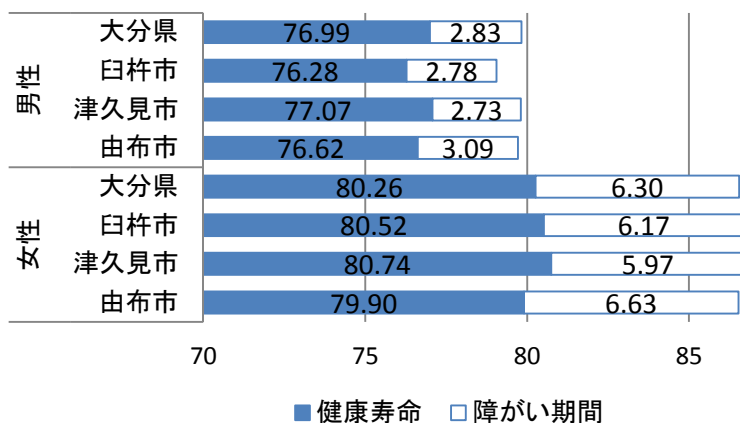
資料：大分県健康指標計算システム（福祉保健企画課）



年齢調整死亡率とは、地域の人口規模や年齢構成の差を調整した死亡状況の指標で、人口10万対で表しています。グラフは、全年齢男女の年齢調整死亡率の推移です(値は、対象年とその前後2年間を含む5年間の平均値です)。

7. 平均寿命

平成22年(平成20~24年)



資料：大分県健康指標計算システム（福祉保健企画課）

『健康寿命』とは、健康で暮らしていける期間（基本的な生活が営める）のことです。

『障がい期間』とは、加齢に伴って要介護状態となり介護や看護、医療等が必要になった期間のことです。

『平均余命』とは、各年齢の者が平均的にみて今後何年生きるかという期待値を表したものです。特に0歳の平均余命を『平均寿命』といいます。

健康寿命は、平均寿命から障がい期間を引いたものです。

